

2017年2月1日
宮交ホールディングス株式会社
宮崎交通株式会社

「こどものくに」の新たな運営について

～ 一部改修工事のお知らせ ～

宮交ホールディングス（代表取締役社長：菊池克頼）傘下の宮崎交通株式会社（代表取締役社長：菊池克頼）は、青島地区における「こどものくに」について、新たな運営形態にて営業することといたしました。

宮崎市青島地区の北側に位置する「こどものくに」は、1939年（昭和14年）の開園以来、おとなも子どもも楽しめる遊園地をコンセプトとして、バラ園・椿園の開園や観覧車等大型遊具の導入、南国や砂漠の散策をイメージしたラクダの登場、ミニ水族館の開館など、その時々の観光・レジャーニーズにあわせた様々な企画を実施し、県内外の多くの皆様に親しまれてまいりました。

現在では、その一部に宮崎市のパークゴルフ場を誘致し宮崎交通が運営するとともに、春季における「フラワーフェスタ」の開催や季節毎の様々なアトラクションに加え、「フラワーエキスプレス」や「ゴーカート」等の常設遊具の運営を実施し、引き続き多くの皆様にご来園を頂いております。

一方で、多くの方々に親しまれながらも、事業としては厳しい運営を余儀なくされ、ここ20年以上にわたり収支が整わない状況が続いており、宮交グループとしましても事業運営上の課題となっております。

宮交グループでは、その事業基盤である宮崎県の観光の活性化を経営上の大きなテーマと考えており、青島地区においては、2013年の「宮崎・青島パームビーチホテル」の「ANAホリデイ・イン リゾート宮崎」へのリブランドを契機とした大型投資を実施してまいりました。また、「宮交ボタニックガーデン（県立亜熱帯植物園）」のネーミングライツの取得（2016年）、青島神社参道の「青島屋」の完全リニューアル（2017年6月開業予定）等、青島地区の活性化にグループ挙げて取り組んでいるところであります。

そのようななか、「こどものくに」につきましても、新たな運営形態により事業面での収支を改善し、その運営を持続的なものとするとともに、ホテル事業をはじめとした各事業体とのさらなる連携をはかっていくことが必要であると判断致しました。これらも契機としまして、宮交グループは青島地区の観光の活性化にさらに取り組んでまいります。

新たな運営のコンセプト等は以下の通りです。

新たなコンセプト ～「自然と遊ぶ自由な空間」～

- ① 園内の中央部に流れる川（知福川）より海側に設置されている遊具類をなくし、芝生を敷きつめたより自由な空間を確保し、宮崎の緑と太陽と触れ合い、自然と親しむコンセプトのもとでの「自由な空間ゾーン」の提供を実施してまいります。また、「自由な空間ゾーン」については各種イベント開催時以外は、広く一般の皆様へ開放し、県民・市民憩いの場を提供してまいります。

News Release

ます。

- ② 「ANAホリデイ・インリゾート 宮崎」に隣接する空間においては、ご宿泊のお客様をターゲットとした体験ゾーンや、自然と触れ合う「憩い・くつろぎ」の場の提供など、「ホテル事業とのコラボレーションゾーン」として活用してまいります。
- ③ 「バラ園」「椿園」「睡蓮の池」については、これらをこよなく愛した宮崎交通創業者である岩切章太郎初代社長の遺志を受け継ぎ、「岩切章太郎メモリアルゾーン（仮称）」として引き続き運営を実施してまいります。
- ④ 園内にある36ホールの宮崎市青島パークゴルフ場については、引き続き宮崎市指定管理者として宮崎交通が運営してまいります。今後ともより多くの皆様楽しんでいただけるよう各種大会を積極的に誘致、開催してまいります。

（新たなコンセプトによるゾーニングイメージは、別紙①を参照ください。）

なお、これら新たな運営に伴う改修工事のため、「こどものくに」園内の海側ゾーンについては、以下の期間ご利用ができませんのでご了承ください。

また、3月中旬から5月上旬にかけて開催しておりますフラワーフェスタについては、今回開催を見送らせていただきますので合わせてご了承ください。

新たな運営形態による「こどものくに」にどうぞご期待ください。

工事期間：平成29年2月13日（月）～平成29年4月28日（金）

※上記期間のこどものくに入園は無料となります。

※宮崎市青島パークゴルフ場は通常通り有料営業いたします。

※改修工事後の詳細につきましては、別途ご案内いたします。

<ご参考> 別紙②：青島地区における宮交グループの近年の取り組み

以 上

<ご参考：青島地区における宮交グループの近年の取り組み>

(1)「ANAホリデイ・イン リゾート宮崎」 ～ホテル・リブランド～

「ANAホリデイ・インリゾート宮崎」は、1996年に「青島パームビーチホテル」として開業し、昨年（2016年）開業20周年を迎えました。その間、営業強化施策の一環として2013年にIHG・ANAホテルズとフランチャイズ契約を締結し、新たなブランドコンセプトのもと客室やメインダイニングの改装等の投資を積極的に実施してまいりました。

これらの効果もあり、2015年度においては開業以来初の最終黒字を計上することが出来ました。引き続き宮交グループにおける旗艦「リゾートホテル」としてさらなる成長を図ってまいります。

(2)「宮交ボタニックガーデン青島」 ～ネーミングライツの取得～

1965年に開園された県立青島亜熱帯植物園は、昨年（2016年）3月にリニューアルオープンいたしました。それを機に宮交グループとしてネーミングライツを取得し、「宮交ボタニックガーデン青島」とネーミング頂きました。このネーミングライツを機に、青島観光の発信基地として、観光案内パンフレットの設置や共同イベントの取り組みなど、今後も協力体制を充実させてまいります。

(3)「青島屋」の完全リニューアル ～モダンジャパン&リゾート～

青島神社の参道入口に位置する「青島屋」は、1968年に「南風荘」としてオープンし、その後、青島を訪れる多くの観光客の皆様にご親しまれてまいりました。今般、「宮交ボタニックガーデン青島」のリニューアルも契機として、2017年6月の開業を目指し、以下のコンセプトでの完全リニューアルを実施します。

<リニューアルコンセプト>「モダンジャパン&リゾート」のダブルアプローチ

- ・県道側は、青島神社のイメージとも合致する「にっぽん」「神話」を感じさせるモダンジャパンのコンセプト
- ・植物園側は、亜熱帯植物園との一体感も感じさせるリゾート感あふれるランドスケープデザイン

(4)「ANA青島ファクトリー」との連携 ～青島ブランドの発信～

2016年10月6日、ANAホールディングス株式会社の100%特例子会社である、ANAウイングフェローズ・ヴィ王子株式会社（代表取締役社長：遠藤達哉氏）が、障がいのある方の活躍の場として、「紙漉き工房」と「木工工房」を合わせた、「ANA青島ファクトリー」を「ANAホリデイ・イン リゾート宮崎」と「こどものくに」内に開設しました。

「青島から世界へ」を合言葉に、和紙や飼肥杉製品をANAのネットワークを通じて世界に発信していこうとする試みです。宮交グループとしても、「ANA青島ファクトリー」と連携し、にぎわいの創出のみならず「青島ブランド」の発信に積極的に協力してまいります。

以上